

平成29年度 在宅医療・介護連携推進支援事業  
在宅医療・介護連携推進事業 プラン作成強化セミナー

ミニレクチャー2

# 在宅医療・介護連携推進事業 と他の地域支援事業の連動

吉江悟<sup>1,2</sup>, 松本佳子<sup>3</sup>

1：東京大学高齢社会総合研究機構

2：慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室

3：東京大学医学部在宅医療学拠点

2017年7～8月

# 市町村による在宅医療・介護連携、認知症施策など地域支援事業の充実 118億円(公費:236億円)

- 地域包括ケア実現に向けた、充実・強化の取組を地域支援事業の枠組みを活用し、市町村が推進。
  - あわせて要支援者に対するサービスの提供の方法を給付から事業へ見直し、サービスの多様化を図る。
  - これらを市町村が中心となって総合的に取り組むことで地域で高齢者を支える社会が実現。
- ※「医療・介護連携強化」「認知症施策の推進」「生活支援体制整備」に係る事業については、地域包括支援センター以外の実施主体に事業を委託することも可能

平成30年度までに全市町村が地域支援事業として以下の事業に取り組めるよう、必要な財源を確保し、市町村の取組を支援する。

在宅医療・介護連携  
13億円(公費:26億円)

地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を推進

認知症施策  
28億円(公費:56億円)

初期集中支援チームの関与による認知症の早期診断・早期対応や、地域支援推進員による相談対応等を行い、認知症の人本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる地域の構築を推進

地域ケア会議  
24億円(公費:47億円)

地域包括支援センター等において、多職種協働による個別事例の検討等を行い、地域のネットワーク構築、ケアマネジメント支援、地域課題の把握等を推進

生活支援の充実・強化  
54億円(公費:107億円)

生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置等により、担い手やサービスの開発等を行い、高齢者の社会参加及び生活支援の充実を推進

**在宅医療・介護連携推進事業以外にも視野を広げることが重要**

- ※1 平成30年度からの完全実施に向けて段階的に予算を拡充。(財源は、消費税の増収分を活用)
- ※2 上記の地域支援事業(包括的支援事業)の負担割合は、国39%、都道府県19.5%、市町村19.5%、1号保険料22%
- ※3 金額は四捨五入により、億円単位にまとめているため、合計額は一致していない。

# 地域支援事業の特性 (私見)

- 保険給付（保険事故に対する個人への給付）だけでは対応できないところを支えるもの  
→だから「地域支援事業」
- 個別のサービス・事業者の縦割りを日常生活圏域単位でつなげる「糊」や「潤滑油」になり得る
- 使い方いかんでは地域支援事業どうしの新たな縦割りを生むリスクもあるため要注意

# 地域支援事業を横断的に見てみると…（事前課題2 記入例）

〇〇県〇〇市町村 介護保険事業計画における基本理念・基本目標

【基本理念】 健やかに暮らし、みんなで支え合うまち

【基本目標】 地域包括ケアシステムの確立による、介護保障と自立支援のさらなる発展を目指して

	在宅医療・介護連携 推進事業	認知症施策	総合事業 生活支援体制整備事 業	地域ケア会議	その他
情報収集 課題抽出 対応策の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護連携推進協議会の設置</li> <li>多職種連携研修の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症に関する検討会（医療福祉の代表者で構成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1層協議体</li> <li>第2層協議体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ケア推進会議</li> <li>地域ケア個別会議（市町村単位・包括単位開催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉計画</li> <li>高齢者居住安定確保計画</li> <li>障害福祉計画</li> <li>健康増進計画</li> </ul>
連携体制 情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次医療圏単位の医療福祉等の関係職種が集まる会</li> <li>医療福祉推進センターの運営（二次医療圏域）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症早期診断・早期支援マニュアル</li> <li>認知症初期集中支援チームの配置</li> <li>「もの忘れ相談シート」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援コーディネーターの地域ケア会議への参加</li> <li>地域リハビリテーション支援体制（県）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援、介護予防の観点からの地域ケア個別会議</li> <li>支援困難ケースに関する地域ケア会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア団体交流会（社協）</li> <li>退院支援ルール（県）</li> <li>関係市区町村連絡会（県）</li> </ul>
コーディネーター配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>郡市区医師会にコーディネーターの配置</li> <li>医療介護関係職種からの相談支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症地域支援推進員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援コーディネーターの配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村職員</li> <li>地域包括支援センター職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>権利擁護サポートセンター</li> <li>ボランティアセンター</li> </ul>
人材養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種連携研修</li> <li>介護関係職種への医療に関係する研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャラバン・メイト養成講座</li> <li>認知症サポーター養成講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リハ職等への介護予防に関する研修</li> <li>従事者向け研修（地域リハビリテーション活動支援事業の活用）</li> <li>ボランティア養成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ケア会議によるOJT</li> <li>地域ケア会議に関する介護サービス事業所向け研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康推進員養成講座</li> <li>在宅医療・介護連携推進セミナー（県）</li> <li>専門職養成研修（県）</li> </ul>
住民啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民向けフォーラム</li> <li>在宅医療や介護、看取りに関する出前講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター</li> <li>出前講座等</li> <li>市民フォーラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご当地体操啓発講座</li> <li>ご当地体操フォローアップ講座</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>病院主催のふれあいまつり</li> <li>介護予防手帳</li> </ul>

(在宅医療・介護連携の推進にも資する)

# 地域支援事業の有機的活用のイメージ (私見)

介護保険事業計画による方針の提示と日常生活圏域単位の資源のコントロール

包 地域包括支援センター（・市役所）による日常生活圏域単位の資源最適化

各日常生活圏域で働く専門職を初期集中支援チームの資源として活用（但し認知症初期に必要な支援は医療というより生活支援）

認

できる限り元気に暮らし続けられる方策を日常生活圏域ごと地域ケア会議で検討

ケ

生活支援コーディネーターと専門職（ケアマネジャー・看護師・リハビリテーション職種など）を日常生活圏域単位でセット（または兼務）にしたインフォーマルケア・フォーマルケアの連動

生

在宅医療・介護の担い手の確保と日常生活圏域単位での最適化

医

認知症BPSDや終末期への望ましい対応の検討など

認

要介護状態での幸せな生活を実現するための方策を日常生活圏域ごと地域ケア会議で検討

ケ

自立

要支援  
事業対象者

要介護

終末期

さらに視野を広げれば…

# 人口1,200人の村役場職員が行った棚卸し作業の例

## 総務課

- 人事（職員研修）
- 法制執務（条例等）
- 財政全般（予算・決算・交付税等）
- 定例区長会（毎月）
- 消防防災
  - 防災訓練・操法大会・夏季訓練・出初式
  - 災害危険地調査・防火調査
- 選挙
- 広報（月刊カリコボース）
- 行政座談会
- 公用車管理

- 消防詰所
- 松之本集会所
- 公用車（積載車）
- 防災ヘリ・ドクターヘリ
- 
- 
- 
- ◎ 消防団（支援団）
- ◎ 区長会
- ◎
- ◎

## 建設課

- ★ 基盤整備・ライフライン
- 村道・林道維持管理
- 水道メーター検針
- 

- 健康増進広場
- 小川トンネル開通
- 村道・林道・橋梁
- 上下水道
- 
- ◎ 土木事務所
- ◎ 村道・林道作業員
- ◎
- ◎

## 農林振興課

- 農林座談会
- 有害獣駆除
- 有害獣駆除
- 作業道維持管理
- 
- ◎ 森林組合
- ◎ 農協
- ◎ 農林振興局
- ◎ 普及センター
- ◎ 農業委員会

## 議会事務局・会計室

- ★ 村議会定例会
- 現金出納検査（毎月）
- 定期監査
- 決算審査
- 補助団体監査
- 村・議会・県職員・教職員合同会議
- 議場
- 
- ◎ 村議会議員（各委員会）
- ◎ 監査委員

## 村民課

- 交通安全・地域安全
  - 街頭指導・法令講習
  - 高齢者交通安全ラウンド・ゴルフ
- ゴミ収集
- 村営バス
- 新庁舎建設
- 税（申告）
- 年金
  - 年金友の会？
- 調査調査
- 夜間混雑
- 食品衛生

- 村所驛
- 各地区公民館・集会所
- 村営住宅（空き住宅）
- 防犯灯
- 学校除（小川・越野屋・板谷）
- 集落センター
- 公用車（バス・青パト等）
- 火葬場
- ◎ 人権擁護員
- ◎ 交通安全協会（警察署）
- ◎ 食品衛生協会

- …… 行事・事業・イベント等
- …… 関連施設・機材等
- ◎ …… 各種組織・団体・グループ等



## 福祉健康課

- ★ 地域包括ケアシステム
- ★ 介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）
- 生きがいデイサービス
- タクシー・パス券
- 見守り事業
- 金婚式
- 敬老会・敬老年金
- 買い物支援（商工会・ヤマト運輸）
- 基本・若者健診
- 各種がん検診
- ミニ人間ドック
- 眼科検診
- 健康づくり推進啓発
- 献血
- 予防接種
- 歯科保健
- ふれあい交流事業（社協）
- 生きがい体力づくり（社協）
- 歴史再発見の旅（社協）
- ふれあいリフレッシュ事業（社協）
- 心配ごと相談
- 米寿祝
- 訪問看護・小川出張診療
- 一時預かり（ふたば園）
- 土曜保育（ふたば園）
- デイサービス・介護ヘルパー（天包荘）
- 生き生き教室

- 保健センター
- 診療所・歯科診療所・小川出張診療所
- ふたば園
- 天包荘
- 介護予防拠点施設（米良の庄）
- 
- 
- ◎ 民生委員・児童委員
- ◎ 地域ケア会議
- ◎ 保健医療連携協議会
- ◎ 生活支援コーディネータ・協議体
- ◎ 子育てサークル
- ◎ 老人クラブ
- ◎ シルバー人材センター
- ◎ 社会福祉協議会
- ◎ 商工会
- ◎ ヤマト運輸
- ◎ 包括支援センター
- ◎ てごり部
- ◎ 介護予防運動サポーター
- ◎ 認知症サポーター
- ◎ 健康づくり推進員
- ◎

## むら創生課

- ★ 西米良総合戦略
- ★ 四季まつり
- 米良三山山開き
- 山菜まつり（小川）
- ふるさと村民味放送（観光協会）
- 菊池公益祭（菊池氏奉賛会）
- やまびこ花火大会（観光協会）
- スカイランニングクエスト
- 山まつり
- 月の神楽（小川）
- 都市間交流（菊池・遍野）
- 移住定住促進
- 統計（国勢調査等）
- 川床（米良の庄）
- 神楽公演

- 西米良温泉（米良の庄）
- キャンプ場（米良の庄）
- おがわ作小屋（小川）
- 菊池記念館
- ホイホイライン
- ◎ 地区担当班
- ◎ 商工会
- ◎ 観光協会
- ◎ 菊池氏奉賛会
- ◎ ふるさと交流の会
- ◎ 語り部の会
- ◎ 中山間盛り上げ隊
- ◎ 地域おこし協力隊
- ◎ いきいき集落

## 教育総務課

- ★ 教育委員会・総合教育会議
- 村民ミニバレー大会（体育協会）
- メランピック
- スポーツフェスタ（体育協会）
- にしめらイキイキ祭
- 小中合同学習発表会
- 区の区の学級（毎月）
- 村営塾
- にしめら児童クラブ
- スマイルにしめら
- 学校支援地域本部
- 成人式
- あさよむツアー・フェスタ
- 菊池公追悼剣道大会（村・練心館）
- 県スボ少剣道ブロック大会（スボ少）
- 県民総合スポーツ祭
- 県市町村対抗駅伝大会（体育協会）
- ヨガ・シェイプ・ボディ（メラスポ）
- 商工会長杯ソフト大会（ソフト協会）
- 村旗ソフト大会（ソフト協会）
- 9人制園いバレー交流大会（メラスポ）
- 村婦連ミニバレー大会（婦人会）
- 村婦人大会（婦人会）
- やまびこロードレース大会（青年会）

- 学校施設（調理場）
- 児童クラブ専用施設
- トレーニング施設
- 山村広場
- 練心館・管理棟
- あさよむ号・宅配車
- 歴史民俗資料館
- ◎ 教育委員会（評価委員会）
- ◎ 公民館長会（自公連）
- ◎ 体育協会・メラスポ・スポーツ推進委員
- ◎ 競技団体（バレー・ソフト・剣道・陸上）
- ◎ 婦人会
- ◎ 青年会
- ◎ スポーツ少年団（山中剣道）

役場の事業で地域包括ケアに関連しそうなものに下線を引いてみた

# “場”を作って多事業（多機能）を埋め込む方法も… 例：暮らしの保健室



- 「暮らしの保健室」は医政局在宅医療連携拠点事業（在宅医療・介護連携推進事業の前身のモデル事業）の採択拠点であるが、通所型サービスBや地域介護予防活動支援事業の拠点にも見える。
- この場を活用して認知症カフェも地域ケア会議も開催できる。

# 専門職を地域の公共財として活かす術

- 所属法人・事業者の役割の他に公的役割を与えて日常生活圏域に配置する
    - 認知症初期集中支援チーム（認知症サポート医などの枠組みも活用可）
    - 在宅医療・介護連携のコーディネーター
    - 生活支援コーディネーター
    - 総合事業の短期集中予防サービス（C）
    - 地域リハビリテーション活動支援事業
    - 地域ケア会議のアドバイザー
- 日常生活圏域単位の多職種チームが形成されていく（在宅医療・介護連携推進事業の目標そのもの）

# おわりに

- 法律・制度などの道具は杓子定規・白黒はつきりしていて、ときに融通がききません。
- そんな道具を最適に使いこなすのは、他でもない「人間」です。
- (ミニレクチャー1で言及した) 事業のアウトカムを最大限達成できるよう、地域総動員(行政・各団体・各職種・住民など)で創意工夫を!

東京大学：在宅医療・介護連携推進事業関連の問合せ先

メール：[homecare\\_info@iog.u-tokyo.ac.jp](mailto:homecare_info@iog.u-tokyo.ac.jp)

多職種研修ホームページ：<http://chcm.umin.jp/education/ipw/>